

|                                                                                                                                                         |                                |     |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------|-----|
| 科目名称：                                                                                                                                                   | 情報リテラシー                        |     |
| 担当者名：                                                                                                                                                   | 矢澤 建明、若月 博延、坂上 牧子、小原 慎平、三藤 加代子 |     |
| 区分                                                                                                                                                      | 授業形態                           | 単位数 |
| 基礎教育科目                                                                                                                                                  | 講義                             | 1   |
| 授業の目的・テーマ                                                                                                                                               |                                |     |
| 本演習は、初年次教育と重点にしたプログラムで、大学生としての正しい日本語表現のマスター、他人との協力方法などのグループワークを行うものです。まず、大学生としてのレポート作成・情報リテラシーの基礎を学びます。社会人基礎力(前に踏み出す力・考え抜く力・チームで働く力)を伸ばしていくことも目的としています。 |                                |     |
| 授業の達成目標・到達目標                                                                                                                                            |                                |     |
| 大学生としての正しいレポートの書き方や、グループワークなどで他人との協力方法など、大学生としての基本的スキル習得が目的です。また、正しい情報収集の方法・情報モラルといった、情報リテラシーを身に着けます。                                                   |                                |     |

| 基礎教育科目 |                                                          | ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針） | 重点項目 |
|--------|----------------------------------------------------------|-------------------------|------|
| DP (1) | 自己理解を深め目標に向かって主体的に行動するとともに、多様性を尊重し他者との信頼関係を築いていくことができる。  |                         | ○    |
| DP (2) | 様々な課題に取り組み幅広い教養を身につけるとともに、変化する社会に対応するための協働的な実践力を身につけている。 |                         |      |
| DP (3) | 専門的な知識や技能を修得し、それぞれの分野において、これらを柔軟に活用していくことができる。           |                         |      |

| 評価方法／ディプロマポリシー | 定期試験 | クイズ<br>小テスト | 提出課題<br>(レポート含む) | その他 | 合計  |
|----------------|------|-------------|------------------|-----|-----|
| 全学DP (1)       |      |             | 80               | 20  | 100 |
| 全学DP (2)       |      |             |                  |     | 0   |
| 全学DP (3)       |      |             |                  |     | 0   |
|                |      |             |                  |     | 100 |

| 実務経験のある教員の担当                                                                                                                     | 担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載） |          |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------|----------|
| なし                                                                                                                               | 《内容 1》                   | 《経験年数 1》 |
|                                                                                                                                  | 《内容 2》                   | 《経験年数 2》 |
|                                                                                                                                  | 《内容 3》                   | 《経験年数 3》 |
|                                                                                                                                  | 《内容 4》                   | 《経験年数 4》 |
| 備考                                                                                                                               |                          |          |
| 特殊な事情により、対面授業ができない場合、「オンライン上で映像を視聴してもらう」、「テキストデータ・画像データを使って学生からの授業内課題・次回まで課題を提出する」、「学生同士がテキストベースで質問・議論しあう」という、教室外での授業実施を行うことがある。 |                          |          |

| 評価ルーブリック      | すばらしい                                  | とてもよい                                              | よい                                         | 要努力                           |
|---------------|----------------------------------------|----------------------------------------------------|--------------------------------------------|-------------------------------|
| 大学生としてのレポート作成 | 具体的な内容で、読み手に伝わりやすく、まとまった内容の文章を書いている。   | 具体的な内容に少々欠けるが、まとまった内容の文章を書いている。                    | 抽象的で、読み手に伝わりにくく、内容のまとまりに欠ける文章を書いている。       | 内容にまとまりがなく、読み手に伝わらない文章を書いている。 |
| 情報リテラシー       | 様々な情報を収集することができ、かつ内容を精査し、要点を述べることができる。 | 様々な情報を収集することができるが、内容の精査まではうまくいかない。しかし内容を伝えることはできる。 | 様々な情報を収集することができるが、内容の精査ができず、うまく伝えることができない。 | 様々な情報を収集することができない。            |
| 授業への積極的関与     | 授業規律を守り、かつグループワークでは積極性がある。             | 授業規律を守っているが、グループワークでは積極性に乏しい。                      | グループワークでの積極性はあるが、授業規律を守らない時がある。            | グループワークの和を乱し、授業規律も守らないことがある。  |

| 授業の内容・計画 |                                                                       | 事前事後学修の内容                                                    | 事前事後学修時間（分） |
|----------|-----------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------|-------------|
| 第1回      | 大学でのレポートの書き方。原稿用紙の利用方法。                                               | シラバスを熟読して授業全体の概要を把握しておく。                                     | 20分         |
| 第2回      | 対立する意見を対比させてレポート作文を書く。                                                | 対立する意見について、双方のよいところ、よくないところを調べてWebフォームに記入する。文章表現のドリルをまとめておく。 | 40分         |
| 第3回      | 図書館の利用と要約：600字程度の文章を200字程度に要約してみる。要約の後グループでシェア。大学図書館の活用(図書館利用方法と文献検索) | 課題に目を通しておき、キーワードを調べてまとめておく。                                  | 30分         |
| 第4回      | 情報の収集と整理：身近なニュース・問題に対して情報収集する（フェイクニュースに騙されない方法）                       | 課題に対するニュース・情報をまとめる。                                          | 30分         |
| 第5回      | 課題図書を400字程度に要約してみる。要約の後グループでシェア。                                      | 課題図書(図書館書籍)を読み込んで、要                                          | 30分         |
| 第6回      | 情報の整理とレポート：第7回で収集した情報を整理し、レポートを作成する。                                  | レポートの準備                                                      | 30分         |
| 第7回      | 小論文：ある課題で小論文に取り組む。そのための設計図作成。グループでシェア。                                | 課題を下調べしてまとめておく。                                              | 30分         |
| 第8回      | 小論文：前回の設計図を元にレポートを作成。                                                 | レポート完成の準備                                                    | 30分         |

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。  
また、事前事後学修としては、次回までの課題プリントをまとめること。

#### 成績評価の方法・基準

定期試験は、実施しない。その他の評価配分は、以下のとおりである。

定期試験はありません。レポート・授業内課題80%、授業への貢献・積極的関与および課外行事を20%で評価します。

#### 課題に対するフィードバック

授業内で提出したレポートについて、評価し返却します。

#### 教科書・参考書

必要な資料等はその都度配付します。